

令和5年7月7日(金) 南日本新聞

令和5年度 NO.8

常潤の讃れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

認知症啓発、畜産振興…

高校生事業13件採用

南さつま市



街や学校の魅力発信事業を考えた高校生たち=南さつま市役所

に13件が採用された。企業版ふるさと納税を活用し7年目。プレゼントーションを経て応募全13件が選ばれた。中学生に高校の魅力を発信し地元進学率を上げる狙いもあり、予算は362万円。事業交付式が6月29日に市役所であり、約30人が参加した。鳳凰はLGBTQ・認知症の知識を普及させる活動や子どもの居場所づくりなど4件。3年の藤井沙耶さんは「貴重な体験ができるらしい。市や3校がより盛り上がりがあれば」と語った。

加世田常潤は、自校の農産物のブランド化や畜産振興、介護人材育成など5件で2年。中村愛梨さんは「人が温かく素晴らしい街や学校を多くの人に知つてもら

徒がそれぞれの特色を生かした地域活性化事業を企画

えるよう頑張る」。
ダンスの魅力を伝えるプロジェクトや特産品デザインを考える美術部の事業などを

4件の加世田。2年の馬場杏奈さんは「地域とのつながりを深めていきたい」と話した。(大塚政志)